

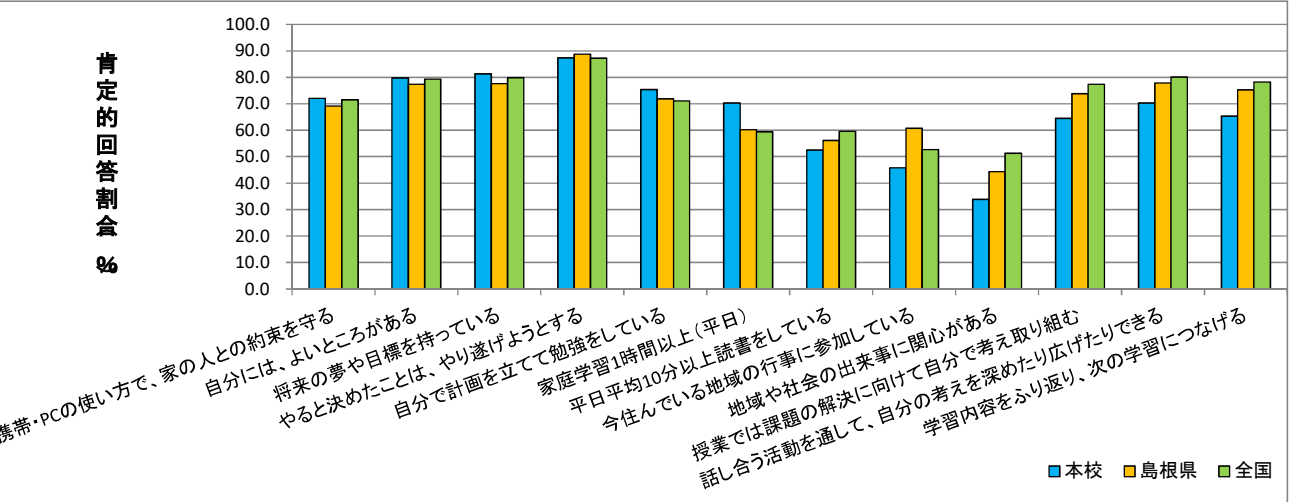
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使ったり、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書いたりする。 ○話し言葉と書き言葉との違いを理解する。 ●人物像や物語の全体像を具体的に想像する。	・物語の構成や中心人物の変容を、記述に即して読み解く力を付ける指導を工夫する。特に、人物の変容については、「誰が」「なぜ」「どのように」変容したかを読みの視点にもって、物語文を学習していくようにする。
算数	○百分率で表された割合を分数で表す。 ○示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を説明する。 ●数量が変わっても割合は変わらないという性質の理解。 ●割合と基準量から比較量を求める。	・基礎基本となる考え方や方法、性質を確実に定着させるために、まとめと振り返りを確実にを行い、算数用語を用いて適切に表現できるよう指導する。
理科	○実験器具の名称を理解し、正しく扱う。 ○提示された情報を複数の視点で分析・解析し、自分の考えをもつ。 ●反射する光の性質を理解する。	・実験や観察を行う際、様々な視点から予想し、「こうだから、こうなる」といった妥当な考えを検討する学習活動を重視する。 ・実験結果を基に考察をする際、互いのまとめを比較する中で、妥当な考えを言語化する活動を重視する。

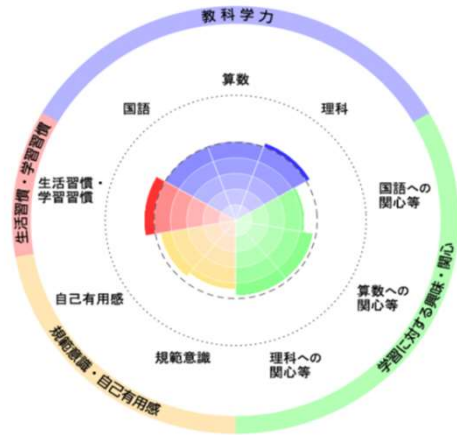
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○携帯電話やゲームなど、メディアの活用について、約束を守り、時間を考えてしている。 ○平日、休日関係なく、家庭学習に時間をかけて取り組んでいる。 ●地域に関心をもって進んで地域に関わり、活動する。	・地域と連携した活動について、身に付けさせたい資質や能力を明確にし、意図的、計画的に位置付け、地域の一員として自分にできることを考えたり、行動したりする機会を設定する。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・基礎、基本的な内容の定着を図るために、「まとめや話し合いでの言語化」「類題問題での確認」など、工夫をしていく。
・学力向上につながるタブレットを活用した学習の在り方を検討し、必要な資質、能力を育てる。

【受検者数】

118 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。